



子育て通信

第53号
H24.10.3
常葉学園短期
大学
保育専攻科

10月に入り、朝夕、肌寒くなり日中も過ごしやすく、秋のおとあれを感じる季節となりました。

さて、私達の夏休みも終わり、授業の一環として毎週火曜日に行っている幼稚園での研究実習が再開しました。週一回、直に子どもに振れ、授業と平行して学んでいます。およそ2ヶ月ぶりに子どもたちの様子を見て様々な発達を見る事ができました。例えば3歳児クラスでは、2ヶ月前には砂場で保育者と子どもが1対1で関わっていることが多かったけれども、今回の実習では子ども同士で遊び、保育者介在数で協力して山を作ったりしている様子が見られました。3歳児は場を共有するだけの平行遊びから、共通するイメージを持って友達と関わるようになります。これは、友達の真似をしたり、時には遊具の取り合いから喧嘩をしたりと子ども同士の関わりが増える時期だからです。

私達も2ヶ月がたち、このような感動をすることができました。お母さん方も日々、子育てで追われていると思いますが、1ヶ月前のお子さんを思い返すと新しい発見や成長に出会えるかもしれませんね。



● 手遊び ●

【うたあそびの実践】 ※保育者と子どもであそびます。ここでは、A = 「保育者」、B = 「子ども」として説明します。

今回は子どもと体で角虫を合いてながら遊べる「一本橋、ちよこちよ」を選びました。ご兄弟がいるお子さんも、ご家族の方も一緒に遊び、家族の中でお子さんとの角虫合わせを増やしてあげてはいかがでしょうか。

わらべうた

いっ ぽん ぼ し こ ちよ こ ちよ
た た い て つ ねっ て
か い だん の ぼ っ て こ ちよ こ ちよ

① かいっぽんばし
② こちよこちよ
③ たたいて
④ つねって
⑤ かいだんのぼって
⑥ こちよこちよ

コチャコチャ

BはAの前に片手の手のひらをさし出す。Aは、Bの手のひらに右手の人さし指で1本の線を描くようにふれる。
AはBの手のひらをくすぐる。
AはBの手のひらを、1回、軽くたたく。

AはBの手のひらを、人さし指と親指でやさしくつねる。
AはBの手のひらに人さし指と中指を立て、腕に沿って溝の方へ、階段を駆けあがるように指を動かす。

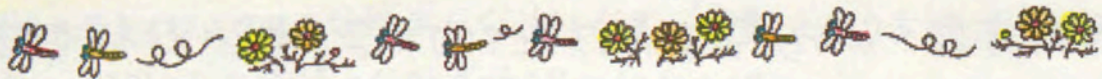
AはBのわきをくすぐる。このとき、Bがのけぞって頭を打ってケガすることがないように、じゅうぶんに注意する。

お母さんの声

前回の子育て広場では、図書館に探検に行きました。

子どもたちは、お母さんや学生と様々な絵本を手にとり、読むことができていたと思います。お母さん方も自分の好きな本や雑誌を探検することで、ゆったりとした時間を過ごすことができたのではないのでしょうか。

今回のお母さん方の声を紹介させていただきます。



今日は、本よりも新しい部屋が楽しいようでほとんど読めませんでした。残念!!
でも、本人は、とっても喜んでいました。
色々な本があって面白い空間でした。また来たいです。
学生さん、ありがとうございました



大学の図書館に絵本があるとは思わなかったのが驚きました。

子どもも絵本は大好きなので、今日は読み聞かせができて楽しかったです。
子どもも読んでほしい本をどんどん持ってきて楽しんでいました。

自宅でも毎日絵本を読んでいます。
気に入った本を「もう1回! もう1回!!」と繰り返し読んでいます。今日も2冊の本を何度も読んでいました。1回目、2回目は下が見て聞いているだけ
3、4回目あたりから言葉を真似る。
5、6回目あたりからは、絵本の中の人物を自分に置き換えてみたり、比べてみたりしています。
その後、読めば読め程、細かい絵に気がいたり、日常生活の中で絵本の中の言葉を使ったりしています。いつも一緒にいる絵本があると本当に楽しくなると思います。

いつも市の図書館を利用して本を借りています。なるべく多くの本を読んであげようと心がけています。お気に入りの本は何度も読んで内容を覚えていました。
初めて私に読んでくれた時にはとても感動しました。
これからたくさん本のめぐりあえる様、一生懸命読んであげたいと思います。

普段は、図書館は子どもが騒ぐと怒られるのでなかなかゆくり読んで選ぶことができないのですが、今回は子どももゆくり手にとり選んで読んであげることができました。
家だと用事が目についてしまい、なかなかゆくり読んであげられないので、図書館に足を運んで読む機会をつくってあげたいです。

下から手題名から入ってしまつた「やだ」という絵本を子どもに読めと言葉が少なくても絵も1回と言って聞いていました。読めば読めほど「やだ」という一言ですが覚えて登場したと学生の方に3冊ほど読んで頂き、子どもと一緒に見せて頂きました。子どもに合わせて子ども顔を見せゆくり丁寧に読んで頂きとても聞きやすくて居心地がよかったです。普段は、上の子に合わせ読んでほしいけれど、今日は下の子と向き合



今日は童謡で分らなかつた
曲を調べて頂いてちゃんと娘に歌って
くれることか出来たので、とっても良かった
です。
本は、まだあまり集中してませんでした
か。だるまの絵本は最後まで聞いてく
れたので嬉しかったです。

短大の図書館へ来るのは初めてで
大型絵本や子ども図鑑など
面白そうな本がたくさんあって
また、ゆっくり見させて頂きたい
なと思いました。

普段、寝る時に本を
1冊ぐらい読むけど
なかなか集中しないので
これから、もっと本を読む
機会をつくらせて、本
の楽しさを知ってく
たらなあと思います。

今日は図書館に行け
ました。
普段、子どもと一人で行くことは
ないので良い経験になりました。
大きな絵本に子どもは
喜んでいました。

初めて利用しましたが、
子どもの本を探しやすく、
私たちもいつでも来ることが
できると知ることができて良か
ったです。
4才の子と一緒にまた遊
びに来たいと思います。



最近、図書館に行くことが多く、
沢山の本を読む機会がありました。
あまり見かけない本も置いてあり興味
をひきました。
子どもに自由に選ばせて見ましたが、無意
識に今、興味のあるものや気になるこの本を
持って来て面白かったです。(アニメーションやもうす
く知れぬので知れぬ園に
えん)をえん

図書館の設備が整っ
ているなと思った。
よく市立図書館に行くので
今日の探検は少し物足りない
ように見えた。
また、子どもの見たことのないよう
な場所も行ってみたいです。

視聴覚室には子どもの歌など
とても興味が沸きました。
娘も色々な本があって楽しんで
いました。
また、利用したいです。

絵本を子どもと一緒に
ゆっくり読めて楽しかったです
家庭でも、絵本を読む時間を
大切にしていきたいです。

この頃、なかなかゆっくりと本を
読んであげたり、図書館に行くことが
なかなかできていなかったのが、息子は
のびのび楽しんで本を眺めていました。
最近、昆虫や車の図鑑が大好きで、市の
図書館では声を出さず「シー、」と注意してるの
ですが、大興奮の声をしなから楽しんで
素敵な時間を過ごせました。



感想ありがとうございます。
市立図書館では、周りのことを考えてはかなお子さんと一緒に行く機会が持てないことも多いので
が、短大の図書館では、大型絵本や視聴覚室で、果ては音が聞かれ、私達も嬉しく見えました。
絵本は、子ども達の想像力を育てるために大切なものです。
この機会に、お子さんと一緒に今までとは違った絵本を見つけてくだ
さい。また、機会があれば短大の図書館もご利用くだ
さい。次の子育て広場もお待ちしております。

次回は...
11/9 (木) です

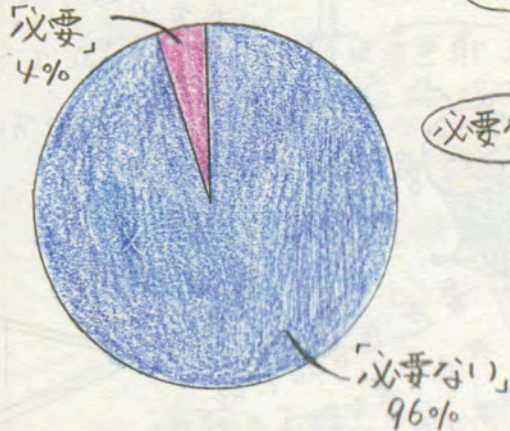


講義の中で話題になったこと



・幼児教育にタブレットやPCは必要か。

<学生の考え>



必要・保育では子どもの興味・関心をもてるものを提供していくので、その一つの手段としてタブレットを使うのもあり!

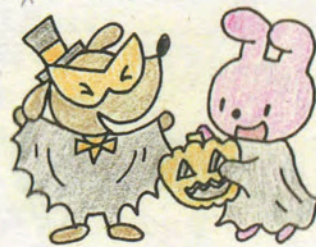
必要ない・幼少期からタブレットやPCの画面を見すぎると、視力が低下する。
・タブレットやPCから学んだり、何か感じたりすることはあるかもしれないが、子どもばかりこそ機械ではなく人や自然、物との直接的な触れ合いを大切にし、その中で様々なことを学び、得ていくべきではない。

専攻科生の考えではこのような結果になりましたが、「必要」という少数派の意見の中でも育児に忙しいお母さん方が様々な形で時間や休息を得るためにタブレットやPCを活用することで、子どもとのより良い向き合い方ができるのではないかとこの考えもありました。また、同じ質問を幼稚園や保育園にすると「必要」が23%で、その意見の中でも、子どもが家庭においても積極的にタブレットやPC等に触れる機会をつくるべきだと思ったり聞くと、思うと回答した人は80%ほどだそうです。実際に、幼稚園や保育園で音楽・イラストなどの創作活動や英語教育などで使っているという園もあるようです。

お母さん方はこのことについて、どのように思われますか。



さて、もうすぐハロウィンですね。何気なくイベントとして楽しまれているハロウィンですがその起源にはどのような背景があるのか、調べてみました。



ハロウィンの起源

ハロウィンは、亡き聖人たちを祭る、キリスト教「万聖節」の前夜祭で、日本のお盆に近い行事です。また、古代ケルト人の大みそかは10月31日で、この日の夜には死者の魂が家に帰ると信じられていました。この2つが合わさり、ハロウィンとしてお祭りが行われるようになりました。ハロウィンは10月31日に行われ、子ども達はお化けのかっこうをして、近所の家々を歩いて回ります。そしてドアをたたき、「Trick or Treat?」（お菓子をくれないといたずらしちゃうぞ）と言います。ハロウィンには魔物もこの世にやってくる、人間に取っつきあつてこの世へ連れていこうとするため、お化けのかっこうをして仲間だと思わせて身を守るのです。ハロウィンのシンボル“ジャック・オー・ランタン”（かぼちゃのお化け）はアイルランドの昔話に出てくるジャック（あの世とこの世をさまよう男）の持つカスのちやうちんが“魔おけ”として、カボチャで作られるようになったものです。